

# 東京国立博物館ニュース

展示と催し物案内 [第722号]

2013 2014

12-1



2 「博物館に初もうで」/新春特別公開/特集陳列 博物館に初もうで—午年によせて—

4 「クリーブランド美術館展—名画でたどる日本の美」/[予告]特別展「栄西と建仁寺」

5 「人間国宝展—生み出された美、伝えゆくわざ—」/[予告]キトラ古墳壁画展(仮称)

6-11 総合文化展 見どころ案内 2013年12月・2014年1月/特集陳列「弥生時代の近畿—華麗なる土器と青銅器の展開—」

「江戸時代の金工」/特集陳列「憧れの毛織物 カシミア・ショールの歴史」/本館/東洋館・平成館・法隆寺宝物館 11 保存と修理情報②

12-13 みどりのライオン 教育普及事業 [講演会/ワークショップ・探検ツアー/アートスタジオほか] 14 INFORMATION 15 TOPICS



# 博物館に初もうで

ご家族様も、おひとり様も、ニッポンのお正月は、みんな一緒にトーハクで！

毎年恒例の「博物館に初もうで」。トーハクでは国宝「松林図屏風」をはじめとする名品の特別公開と、えとの午の特集、そして松竹梅に鶴亀、富士山、宝船など、吉祥をテーマにした作品の数々。さらには、心豊かな新年のスタートを祝って和太鼓や獅子舞などの伝統芸能も盛りだくさん。

## 新春特別公開

松林図屏風をはじめ、当館を代表する名作を期間限定特別公開！

トーハク宝尽したほ！



### 国宝 松林図屏風

長谷川等伯筆 安土桃山時代・16世紀(部分) 本館2室 1月2日(木)～26日(日)  
当館ウェブサイトの投票コーナーでも、見たい国宝ナンバー1に輝いた、水墨画の至宝



### 国宝 楼閣山水図屏風

池大雅筆 江戸時代・18世紀 團伊能氏寄贈(部分)  
本館7室 1月2日(木)～13日(月・祝)  
金箔の画面に中国の有名な景勝地と文人の生活を描いています



### 国宝 破墨山水図

雪舟等楊筆  
雪舟自序・月翁周鏡等六僧賛  
室町時代・明応4年(1495)(部分)  
本館3室 1月2日(木)～13日(月・祝)  
雪舟76歳の作。図上には中国で李在と長有に絵を学んだことなどを自叙伝風に記しています

#### その他の特別公開

- 万葉集(元暦校本) 卷第九、卷第二十 平安時代・11世紀  
本館3室 1月2日(木)～13日(月・祝)
- ◎熊野懐紙 飛鳥井雅経筆 鎌倉時代・正治2年(1200)  
本館4室 1月2日(木)～13日(月・祝)
- 聚楽第行幸和歌巻 鳥丸光広筆 江戸時代・17世紀  
本館8室 1月2日(木)～13日(月・祝)

2014年  
1月2日(木)  
|  
1月26日(日)

## 新

### 2014年1月2日(木)

- 10:30 和太鼓 埼玉県立秩父農工科学高等学校 秩父屋台囃子保存部 正門内池前
- 11:15 江戸の遊芸 紙切り 林家二楽 本館前
- 12:00 獅子舞 東都葛西囃子睦会 本館前
- 13:00 和太鼓 埼玉県立秩父農工科学高等学校 秩父屋台囃子保存部 正門内池前
- 13:45 江戸の遊芸 紙切り 林家二楽 本館前
- 14:30 獅子舞 東都葛西囃子睦会 本館前

## 春

## イ

### 2014年1月3日(金)

- 10:30 和太鼓 埼玉県立秩父農工科学高等学校 秩父屋台囃子保存部 正門内池前
  - 11:15 クラリネット・コンサート ジュリアンズ 平成館ラウンジ
  - 12:00 獅子舞 東都葛西囃子睦会 本館前
  - 13:00 和太鼓 埼玉県立秩父農工科学高等学校 秩父屋台囃子保存部 正門内池前
  - 13:45 クラリネット・コンサート ジュリアンズ 平成館ラウンジ
  - 14:30 獅子舞 東都葛西囃子睦会 本館前
- 雨天時は、場所を変更、または中止になることがあります。

## ベ

## ン

### いけばな

2014年1月2日(木)～1月13日(月・祝)

真生流 山根由美氏

## ト

### 寛永寺根本中堂特別拝拝

1月2日(木)、3日(金) 10:00～15:00

根本中堂、徳川歴代将軍の肖像画(油画)、四天王像(江戸時代・元和6年<1620> 台東区登録文化財)、十二神将像(江戸時代・元禄15年<1702>))を公開。当館観覧券の半券(当日分)の提示で散華をお配りします。

### ミュージアムショップからお年玉

1月2日(木)、3日(金)

2,000円以上お買い上げのお客様、先着600名様にミュージアムグッズをプレゼント

1月2日(木)～5日(日)

美術図書バーゲンセール

### ミュージアムシアター 無料上演

1月2日(木)、3日(金) 11:00、12:00、13:00、14:00、15:00、16:00

VR作品『よみがえる江戸城—本丸御殿・松の廊下から天守閣へ—』

定員:各回ともに90名

### ホテルオークラレストラン ゆりの木、ガーデンテラスからプレゼント

1月2日(木)、3日(金)

ゆりの木ご利用のお客様先着150名様に伊予の水引の箸置きをプレゼント  
ガーデンテラスご利用のお客様先着150名様にヒマラヤ岩塩パウダー(小袋)をプレゼント



【梅】春に先駆けて咲く

◎色絵竹梅図茶壺  
仁清作 江戸時代・17世紀  
12/3 ~ 1/13 本館13室



【竹】まじもぐにー!

色絵竹図徳利  
京焼  
江戸時代・17 ~ 18世紀  
1/2 ~ 3/23 本館8室



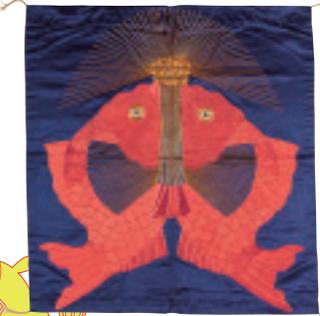
【松】つるも緑

若松時絵印籠  
朱漆銘「塩見政誠」  
江戸時代・19世紀  
クインシー・A. ショー氏寄贈  
1/2 ~ 2/23 本館10室



どの展示室も、松・竹・梅に鶴・亀・富士山、めでた銅作品が勢ぞろい

おめでたー!  
がいっぱいだほ



【鯛】めでたいめでたい

袱紗 紺縞子地鯛模様  
江戸時代・18 ~ 19世紀 アンリー夫人寄贈  
1/2 ~ 2/23 本館8室



【鷹】力の象徴

日の出の松に鷹  
歌川広重筆  
江戸時代・19世紀  
1/2 ~ 1/26 本館10室



【富士山】よう日本

江戸の正月  
江戸時代・19世紀  
1/2 ~ 1/26 本館10室



【七福神】宝船に乗る

見立七福神宝船 歌川豊国筆 江戸時代・18世紀  
1/2 ~ 1/26 本館10室



【亀】万年生きま

夜着 紅輪子地 橘扇亀模様  
江戸時代・19世紀  
1/2 ~ 2/23 本館8室



【鶴】千年生きま

黒染鶴亀文茶碗  
仁阿弥道八作「道八」刻銘  
江戸時代・19世紀  
1/2 ~ 2/23 本館8室



◎牧馬図屏風

長谷川等伯筆  
安土桃山時代16世紀(部分)  
山野に遊ぶ群馬と調馬にいそむ武人の姿が、生き生きと描かれています

ヴァージムカ立像  
ブレアンコール時代  
7 ~ 8世紀  
カンボジアあるいはタイ  
山本達郎氏寄贈  
ヴァージムカは馬の頭と人の体をもった、ヒンドゥー教聖典の守り神です。



◎芦穂時絵鞍鉤  
安土桃山時代・16世紀 久松定法氏寄贈  
豊臣秀吉所用との伝承がある、大胆かつ豪華な鞍鉤



くつ轡  
前2千年紀末~前1千年紀初頭  
イラン、ルリスタン地方出土  
西アジアを駆けめぐった騎馬民族の馬具にふさわしく轡の意匠も馬形です

今年のえとは午。農耕や運搬、交通など人間の歴史は馬と共にあったといっても過言ではなく、人にとって身近な存在であった馬の姿は、古今東西の美術品の中に見ることが出来ます。また日本に馬がもたらされたころ、馬は権力の象徴であり、乗馬用具の制作

には最先端の工芸技術が集められました。午年にちなみ、馬を表した美術工芸品や馬具の名品をご覧いただき、人間と馬の深い絆に思いを馳せていただければ、幸いです。今年も万事うまく行きますように、願いを込めて… (竹内奈美子)



特集陳列 博物館に初もうで  
午年によせて  
午年の門出を祝いましょう

1月2日(木) | 1月26日(日)  
特別1・2室

今年もウマイこといけますよーに。



関連イベント

家族で参加しよう!  
お正月限定クイズラリー  
「トーハクうま三昧」

新年1月2日、3日の2日間、先着3000名の皆様にワークシートをお配りします。ワークシートを持って館内をまわしましょう。2014年の干支、午(うま)にちなみ、馬を表した作品にまつわるクイズに挑戦! 裏面はカレンダーです。クイズシートの配布と答え合せは11時から16時まで、東洋館エントランスで行います。なお、ワークシートの配布はなくなり次第終了とさせていただきます。

# クリーブランド美術館展

名画でたどる日本の美

Admired from Afar: Masterworks of Japanese Painting from  
The Cleveland Museum of Art

平成館 特別展示室第1・2室

2014年1月15日(水) — 2月23日(日)

アメリカン・クリエーション・ブランド美術館の所蔵品による、平安から明治までの日本絵画千年の美。この展覧会では日本の美術の流れをたどれるほか、同館のコレクションの西洋絵画や中国絵画の名品とともに日本絵画を鑑賞する楽しみもあります。今回は、安土桃山時代の花鳥図と、ルソー。自然と動物を描く二つの作品を比べながら鑑賞してみましよう。

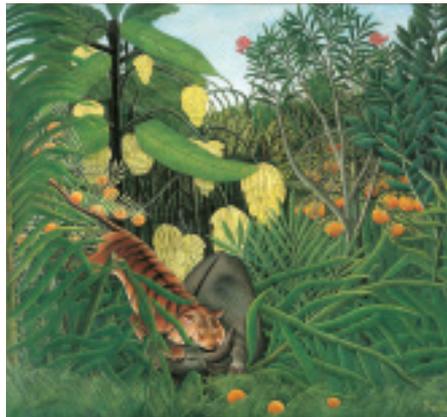
**強いのがお好き？  
だって、注文主は  
武将ですもの。**

色鮮やかな植物が咲き誇る荒々しい画面。一對となる左隻には、対照的に緑の羽が美しいのがいの孔雀が描かれた穏やかな場面となっています。注文主であった武将の気風にかなう「驚鳥図」という猛禽類が獲物を捕える主題は、安土桃山時代にしばしば描かれました。画家は実際の鷹を見て

描いているわけではなく、時代に描かれた鷹の絵を参考にしていますが、緊迫感あふれるシーンが生み出されています。

**自然界？ いえ、これはルソーだけの夢の世界です。**

フランスの画家ルソーは、パリの植物園で樹木をスケッチし、架空のジャングルでトラがバッファローを襲う場面を作り出しました。バナナが上下逆さまになっているように、現実の



トラとバッファローの戦い  
アンリ・ルソー作 1908年  
Gift of the Hanna Fund 1949.186



四季花鳥図屏風(右隻部分)  
安土桃山時代:16世紀  
Gift of William G. Mather  
1948.128.1-2

(右隻全図)

世界に忠実に描こうという意図がありません。ルソーは独創的な画風によって幻想的な世界を創造し、ピカソらアバンギャルドの画家たちに賞賛されました。西洋の近代絵画は、古典的絵画のさまざまな束縛から離れ、作者個人の思想や価値観に即した世界が描き出されました。ルソーはその潮流の代表的な画家の一人といえるでしょう。(松嶋雅人)

## 「クリーブランド美術館展 —名画でたどる日本の美—

2014年1月15日(水)~2月23日(日)  
平成館 特別展示室第1・2室

主催:東京国立博物館、クリーブランド美術館、NHK、NHKプロモーション、朝日新聞社  
協賛:住友ナコ マテリアル ハンドリング、日本写真印刷、ハイスター=エール・マテリアル・ハンドリング  
協力:全日本空輸  
お問合せ:ハローダイヤル 03-5777-8600  
展覧会ホームページ:http://www.nichibisai.jp/

Photography © The Cleveland Museum of Art

## 関連イベント

### 記念講演会

- ①「日本絵画のABC—物語世界に遊ぶ—」  
日時:2014年1月19日(日)13:30~15:00  
講師:土屋貴裕(平常展調整室研究員)
- ②「笑う美術館館長 名画を語る」  
日時:2014年2月2日(日)13:30~15:00  
講師:河野元昭氏(秋田県立美術館 館長)

会場:東京国立博物館 平成館大講堂  
定員:380名(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)  
聴講料:無料(ただし、本展覧会の観覧券が必要。半券でも可。その場合は別途入館料が必要)  
申込方法:往復はがきの[往信用裏面]に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・希望する講演会名、[返信用表面]に郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記までお申込みください。

さい。※1枚のはがきで最大2名まで申込可。2名の場合は、それぞれの氏名を必ず明記してください。  
申込先:〒103-0014 中央区日本橋蛸殻町1-28-9 ウィンダム内 クリーブランド美術館展講演会(希望する①②のいずれか)係  
申込締切:①12月1日(日)  
②12月15日(日)消印有効



●風神雷神図屏風  
依屋宗達筆 江戸時代・17世紀 京都・建仁寺蔵

## 開山・榮西禪師800年遠忌 特別展「榮西と建仁寺」 2014年3月25日(火)~5月18日(日)平成館

主催:東京国立博物館、建仁寺、読売新聞、NHK、NHKプロモーション 協賛:日本写真印刷  
観覧料金:一般1,600円(1,400円/1,300円)、大学生1,200円(1,000円/900円)、高校生900円(700

円/600円) \* ( )内は前売り/20名以上の団体料金。中学生以下無料。\*障害者とその介護者1名は無料。\*前売券は、2013年12月9日から2014年3月24日(月)まで、東京国立博物館正門チケット売場(窓口、閉館日のみ、閉館の30分前まで)、展覧会公式ホームページほか、主要プレイガイドにて販売。  
お問合せ:ハローダイヤル 03-5777-8600  
展覧会ホームページ:http://yosai2014.jp/

二〇一四年は、日本に禅宗を広め、京都最初の禅寺「建仁寺」を開創した榮西禪師(一一四一〜一二一五)の八百年遠忌にあたります。これにあわせて、榮西と建仁寺にゆかりの宝物を集めた展覧

会を開催します。依屋宗達筆「風神雷神図」屏風や海北友松筆の本坊方丈障壁画をはじめ、山内の塔頭に伝わる宝物を一堂にご覧いただけます。(田沢裕寛)

予告

開山・榮西禪師八〇〇年遠忌  
特別展  
榮西と建仁寺

2014年  
3月25日(火)  
~5月18日(日)

平成館

日本伝統工芸展60回記念

# 人間国宝展

生み出された美、伝えゆくわざ

The 60th Japan Traditional Kōgei Exhibition  
Engendering Beauty, Preserving Techniques: Artworks by  
Living National Treasures

平成館 特別展示室第3・4室

2014年1月15日(水)―2月23日(日)

104名の人間国宝の作品に  
会えるチャンス!  
古典と現代の名品が、  
トータルに勢揃いします。

## 第1章 古典への畏敬と挑戦

愛され守り伝えられてきた古典の名品。そのわざと美を目標として制作を志した活動を評価され人間国宝(重要無形文化財の保

持者)に選ばれた作家の作品を、彼らが目指した古典や、その造形に影響を与えた作品とともにご覧いただきます。(小山弓弦葉)



志野茶碗 銘広沢  
美濃 安土桃山〜江戸時代・16〜17世紀  
湯木美術館蔵  
白い釉から現れる鉄絵と緋色と呼ばれる赤味が独特の魅力をかもし出す、桃山の名碗

VS



志野茶碗  
荒川豊蔵作 昭和28年(1953) 東京国立近代美術館蔵  
荒川は桃山茶陶の技を極め、荒川志野と呼ばれる独自の世界を生み出しました

## 第2章 現代を生きる工芸を目指して

近代から現代にかけて大きく変化した日本人の生活様式。作家たちは、伝統を強く意識しながらも、現代にあった新たな技

術、新たな表現を求めました。現代を生きる工芸とは何か、作家たちの答えがその作品に表れています。



截金彩色飾篭 花風有韻  
江里佐代子作 平成3年(1991)  
文化庁蔵  
仏師に嫁した江里は、仏像を装飾する伝統技法を広く周知するために、工芸に応用しました

## 第3章 広がる伝統の可能性

多様化する芸術表現は、現代美術や音楽ばかりではなく、伝統工芸の世界にも及びました。

伝統に新たな枠組みを提示し、可能性を広げていった作家たちの評価は、未来へとたくされま



黄泉比良坂  
堀柳女作  
昭和39年(1964) 個人蔵  
「ひとがた」ではなくその情念を表現するという人形の本質を追究した意欲作

### 日本伝統工芸展60回記念 「人間国宝展 ―生み出された美、伝えゆくわざ―

2014年1月15日(水)〜2月23日(日)  
平成館 特別展示室第3・4室

主催:東京国立博物館、文化庁、NHK、NHKプロモーション、朝日新聞社、日本工芸会 協賛:花王、日本写真印刷  
お問合せ:ハローダイヤル 03-5777-8600  
展覧会ホームページ:http://www.nichibisai.jp/

※シンポジウム、ワークショップ、現役人間国宝によるギャラリートークなどの関連イベントも予定しています。詳しくは16ページの展示・催し物カレンダー、または展覧会公式ホームページをご覧ください。

### 「クリーブランド美術館展」「人間国宝展」2展共通情報

#### ■ 観覧料金(単独)

一般1,000円(800円)、大学生800円(600円)、高校生600円(400円)  
中学生以下無料  
\*( )内は20名以上の団体料金  
\*単独の前売販売はいたしません。

#### ■ 「クリーブランド美術館展」「人間国宝展」の2展共通観覧料金

一般1,600円(1,400円)、大学生1,400円(1,200円)、高校生1,000円(800円)  
中学生以下無料  
\*( )内は前売り・20名以上の団体料金  
\*障がい者とその介護者1名は無料です。入館の際に障がい者手帳などをご提示ください。  
\*前売券は、東京国立博物館 正門チケット売場(窓口、開館日のみ、閉館の30分前まで)のほか、展覧会公式ホームページ、チケットぴあなど主要プレイガイドにて、2014年1月14日(火)まで販売。

#### ■ 東京都美術館開催の「世紀の日本画」展とあわせて 3展共通一般前売券

3展セットで2,400円 一般のみ発売  
東京国立博物館 正門チケット売場(窓口、開館日のみ、閉館の30分前まで)のほか、展覧会公式ホームページ、チケットぴあなど主要プレイガイドにて、2014年1月14日(火)まで販売。

予告

### キトラ古墳 壁画展 (仮称)

来春、  
明日香の息吹を  
トータルで!



2014年  
4月下旬  
〜5月下旬  
(日程未定)

本館  
特別5室

キトラ古墳壁画は、現在文化庁により修理作業が進められており、二〇一四年度からは壁画の再構成が本格的に開始される予定です。その後は遠方へ移動して公開することが困難になります。この再構成作業が本格化する直前である二〇一四春に、四神(朱雀・玄武・青龍・白虎)や、確認され

た十二支像(子・丑・寅・午・戌・亥)のうちで展示可能な壁画を特別に公開いたします。  
今回の展示が地元以外で唯一の機会になると思われます。詳細が決まりましたら東京国立博物館ウェブサイトでお知らせいたします。どうぞお楽しみに。(齊藤孝正)

# 注目の特集



個人的な  
近畿の弥生文化

特集陳列

## 「弥生時代の近畿 —華麗なる土器と青銅器の展開—

—華麗なる土器と青銅器の展開—

2014年2月4日(火)～3月16日(日)

●本館 特別1室



線刻絵画付長頸壺

弥生時代(後期)・1～3世紀

大阪府和泉市・泉大津市池上曾根遺跡出土

大阪府立弥生文化博物館蔵

◀水田稲作とともに伝えられた龍(右上部分)

弥生時代を代表する船橋遺跡と池上曾根遺跡出土資料を中心に、近畿地方の弥生文化の特色をご紹介します。

近畿地方では、華麗にして繊細な印象を与える櫛描文土器や、多彩な銅鐸が展開する優れた弥生文化が育まれてきました。展示ではその土器群ならびに近畿式銅鐸や大阪湾型銅戈と呼ばれるこの地域固有の青銅器をご覧いただきます。また「龍」を描いたとされる絵画付土器や、人・動物などが描かれた絵画銅鐸も展示し、当時の人びとの祈りや世界観にも迫ります。

本特集陳列は平成二十五年考古相互貸借事業として、大阪府立弥生文化博物館からお借りした作品で構成するものです。  
(品川欣也)



江戸時代の豊かな  
庶民文化の結晶

注目

## 「江戸時代の金工」

11月26日(火)～2014年2月16日(日)

●本館 13室 金工

十六世紀から十八世紀の江戸時代は、金属工芸が質・量ともに大きく転換した時期でした。安泰な国家運営、旺盛な庶民文化、生活処方の多様化、商業地・生産地の拡散、そして金工技術の成熟など、さまざまな要因が考えられるでしょう。とくに金属工芸の世界では、細部にこだわった技巧、多種多色の金属使用が大きな特色で、何より前代に比べて、造られる品目、アイテムの種類が、圧倒的に増加します。武士も貴族も庶民も、みずからの「暮らし」に愛着を注いだ時代。その思いがこれら江戸金工の品々には感じられます。

(伊藤信二)

花籠形釣香炉

江戸時代・18世紀

籠は細い銀線を編みあげ、菊の花は銀の薄板で造るなど、「節職人」が手がける簪などにも通じる、たおやかに繊細な技術



自在置物 伊勢海老

明珍宗清作 江戸時代・18～19世紀

リアルだけでなく自在に動かせる伊勢エビ。明珍は中世には甲冑を造っていた家系で、固く扱いにくい鉄を操るのはお手の物なのです



王族が愛した  
わざとデザイン

注目

特集陳列

## 「憧れの毛織物 カシミヤ・シヨールの歴史」

—憧れの毛織物—

12月3日(火)～2014年3月9日(日)

●東洋館 13室 アジアの染織



カシミヤ・シヨール 赤地果樹孔雀ペイズリー文様綴織刺繍縫合わせ

インド・カシミール 18世紀

ペイズリー柄が複雑に構成されたデザインはヨーロッパ向けの特注品

インド北西部カシミール地方で放牧されたカシミヤ山羊の内毛を紡ぎ、細くつややかな毛糸をさまざまに色に染め綴織や刺繍で文様を表したカシミヤ・シヨール。ムガル王朝の王族たちが愛用したカシミヤ・シヨールは、十八世紀以降、インドに進出したヨーロッパ諸国で人気が高まり、盛んに輸出されるようになりました。本展では、当館所蔵のヨーロッパ好みのカシミヤ・シヨールのほか、平山郁夫シルクロード美術館に所蔵される珍しい初期の作例、十九世紀前半の色鮮やかなデザインをもつ優品を合わせて展示し、そのすばらしいわざとデザインの歴史をご紹介します。(小山弓弦葉)

本館 ①室 日本美術のあけぼの

古墳時代のセレブ女子？

重文 埴輪 盛装の女子  
2014年1月2日(木)～6月1日(日)

全身を着飾り、盛装した女性を表した埴輪です。筒袖で右前袷の上着と長い裳(スカート)を身に纏い、中空の分銅形で表わされたアップの髪を額の堅櫛や、鉢巻とリボンで留めています。丸玉を連ねた首飾りと、耳玉・耳環に加えて手首にも手玉を巻き、左腰にはかわいらしい提げ物もつけています。

多様な造形の男子像に比べ、女子像は画一的な半身像が一般的です。しかし、この埴輪は、男子像にも稀な全身像で、これほどの表現は女子像としては異例の存在です。特別な職掌か、よほど身分の高い女性がモデルであったことでしょうか。(古谷毅)



◎埴輪 盛装の女子

群馬県伊勢崎市豊城町横塚出土  
古墳時代・6世紀  
着飾った女性の全身を表現した  
稀な人物埴輪

本館 ④室 茶の美術

長次郎の四角い茶碗

重文 黒楽茶碗 銘ムキ栗  
11月12日(火)～2014年2月23日(日)



◎黒楽茶碗 銘ムキ栗

長次郎作 安土桃山時代・16世紀 文化庁蔵  
角をもちながらも、柔らかく手におさまることが考えられたかたちです

茶の湯の大成者・千利休のもとで新しい茶碗の創作にあたった京都の陶工・長次郎。その代表作である黒楽茶碗のなかでも、特に独創的な「四角い茶碗」を展示します。重文 黒楽茶碗 銘ムキ栗は、手捻りで成形したのち口を四方にたわめるといふ、他に類例のないかたちで見られる目を引きつけます。内外に厚く掛かる黒釉や厚い底造りは、初期の長次郎の茶碗に共通する特徴です。今回の展示では、重文 一重口水指 銘柴庵や自筆の書状など、利休に関連する道具を中心に取り合わせました。茶人の好みの世界をご堪能ください。(横山梓)

本館 ⑩室 浮世絵と衣裳

北斎がめでたい初夢届けます

宝船の七福神 葛飾北斎筆  
2014年1月2日(木)～1月26日(日)



宝船の七福神

葛飾北斎筆  
江戸時代・19世紀  
この一枚でめでたい初夢!

葛飾北斎が、「勝川春朗」と名乗っていた北斎三十歳前後の作品。七福神が龍頭の船に乗り恵比須が鯛を釣り上げています。千年長寿の鶴が飛び、万年長寿の蓑亀も船に乗り込もうとしています。宝船の絵を枕の下に敷いて寝るとよい初夢を見ることが出来るとされました。本図には、目出度い和歌も添えられています。「なかきよの とをのねふりの ミなめさめ なみのりふねの をとのよきかな」。一年を占ういかにも縁起のよい夢が見られそうな作品です。そして、和歌を逆から読んでみてください。(田沢裕賀)

本館 ⑪室 彫刻 ほか

比べてみよう！ 世界の獅子

重文 獅子 ほか  
12月3日(火)～2014年3月2日(日)



◎獅子  
アンコール時代・12～13世紀  
フランス極東学院交換品  
通年展示



◎獅子  
平安時代・12世紀  
広島・吉備津神社蔵  
12月3日(火)～2014年3月2日(日)

およそ800年前に日本とカンボジアで造られた獅子。日本の木造の獅子は堂内に、カンボジアの獅子は外に置かれて過ごしました

ライオンの彫像を王宮、寺院などの守護神として門などに置くことは世界各地に見られます。百獣の王として魔物、災いを除くと信じられたからです。本館11室に奈良・薬師寺と広島・吉備津神社の平安時代の獅子、東洋館1室には中国、3室にはガンダーラ、そして11室にはカンボジアの獅子がいます。ライオンはインドに生息しますが、ガンダーラのライオン頭部は舌を出して顔がやさしく、犬に似ています。カンボジアのライオンは歯がたくさんで、ゴリラのような不思議な姿勢です。(浅見龍介)

1/2 木 3/23 日

必見

くろあかかたつまどりおのぼるまる  
 ◎黒章肩妻取威胴丸  
 室町時代・16世紀  
 黒章を地の威とし、紅白の糸を用いて多様な威し方をみせる胴丸です



## 4 茶の美術

くろくちやわん めい あまでら 必見  
 黒楽茶碗 銘 尼寺

長次郎 安土桃山時代・16世紀  
 松永安左工門氏寄贈  
 手捻りで成形された茶碗は緩やかな凹凸をもち、独特の味わいを見せます



2/23 日 (12/9~1/1は閉室)

ひとえ ぐちみずし  
 ◎一重口土指 必見  
 めい けいせい  
 銘 柴庵

信楽 安土桃山時代・16世紀  
 広田松繁氏寄贈  
 胴の歪みや自然釉による景色が魅力の、信楽を代表する土指です



## 3-3 禅と水墨画 — 鎌倉～室町

1/2 木 1/13 月・祝

は ぼくさんせい  
 ◎破墨山水図 必見

雪舟等楊筆  
 室町時代・明応4年(1495)  
 帰郷する弟子の求めに応じて雪舟が描き与えた絵です



1/15 水 2/9 日

しょうかだるま  
 ◎松下達磨図 必見

一山一寧賛 鎌倉時代・14世紀  
 水墨画導入期の達磨図で、顔は穏やかな表情をうかべています



## 3-2 宮廷の美術 — 平安～室町

1/2 木 2/9 日

しやうほうさんしやうろつ か せん うえ まさ  
 ◎釈教三十六歌仙絵巻 必見

南北朝時代・14世紀  
 「クリーブランド美術館展」にも断簡が出品される、僧侶の和歌と肖像を描いた歌仙絵



まんやうしやうざい らんし ほん  
 万葉集切(藍紙本) 必見

藤原伊房筆 平安時代・11世紀  
 藍色の料紙に世尊寺家第3代・藤原伊房が『万葉集』を書写しています



## 2 国宝室

12/8 日 必見

かんぶらう すびやう ぶ  
 ◎観楓園屏風

狩野秀頼筆 室町～安土桃山時代・16世紀  
 紅葉の名所として名高い京都洛北高雄、清滝川のほとりて輪になった男性の一群は、拍子をとりにながら舞を舞い、酒宴に興じています



1/2 木 1/26 日 必見

しやうりん せん ふう ふう  
 ◎松林図屏風 必見

長谷川等伯筆  
 安土桃山時代・16世紀  
 等伯が深く傾倒し研究を重ねた中国の水墨画を、日本において究極の地点に到達させた、近世水墨画の最高傑作



必見

しやうくろく らん せん ふう  
 ◎十六羅漢像 (第十尊者・第十二尊者)

平安時代・11世紀  
 温雅な彩色が特徴の11世紀仏画の名品です

## 3-1 仏教の美術 — 平安～室町

1/2 木 2/9 日



必見

さいおん しきやうじ ぶ にん げん ちん  
 ◎西園寺実氏夫人關文

伝世尊寺経尹筆  
 鎌倉時代・弘安5年(1282)  
 自らの死後の冥福を祈る文章が、金銀の下絵の美しい料紙に書かれています

## 1-1 日本美術のあけぼの — 縄文・弥生・古墳

12/8 日 必見



1/2 木 6/15 日 必見

すゝ ちやう せき けつ けい けい けい  
 ◎須恵器 脚付長頸壺

古墳(飛鳥)時代・7世紀  
 三重県鳥羽市答志町  
 蟹穴古墳出土 川原松蔵氏寄贈  
 大型でありながら歪みのない端正な姿に、自然釉の美しさを纏った壺

かたたくちやうきんかほちやう だ き  
 ◎片口付深鉢形土器

縄文時代(前期)・前4000～前3000年 埼玉県ふじみ野市福岡 上福岡貝塚出土 個人蔵  
 片口付というユーモラスなその形と対照的な精緻で多彩な縄目模様

## 1-2 仏教の興隆 — 飛鳥・奈良

1/2 木 2/9 日

必見

ぶつせつ かいしやう さいきやう  
 仏説戒消災経 (五月一日経)

奈良時代  
 天平12年(740)  
 佐保山晋圓氏寄贈

光明皇后発願経の一つ。五戒の功德によって災害を免れたという説話を収めています



にやらいりやう ぞう  
 如来立像 必見

飛鳥時代・7世紀  
 法隆寺献納宝物  
 法隆寺献納宝物のなかで唯一の木彫像で、光背と取り付け用の支柱も当初のものです



# 術の流れ

## 江戸まで、どる日本美術史

替えのため本館2階は閉室いたします。



7

屏風と襖絵 — 安土桃山・江戸

1/15 水 — 2/9 日 華やかな金屏風の数々をお楽しみください。

松竹梅図屏風

立林何帛筆 江戸時代・18世紀  
尾形乾山が江戸で活躍した時期の弟子何帛が描いた松竹梅。たらし込みやユニークな形に光琳画風が継承されている



5

6

武士の装い — 平安～江戸

◎黒漆打刀(◎太刀 銘 弘の拵)  
室町時代・16世紀 渡辺義介氏寄贈  
上杉家に伝来した外装で、中身の備前一字派の作とされる刀剣も展示されます



8 - 1

暮らしの調度 — 安土桃山・江戸

1/2 木 — 3/23 日 おめでたい文様や梅・椿など冬に因んだ意匠の品々をご覧ください。

12/8 日

菊や藤袴、楓など秋に因んだ意匠の品々を中心にご覧いただけます。

草花漆絵食籠

谷田忠兵衛作 江戸時代・18世紀  
伊藤甲子之助氏寄贈  
作者は徳島藩主蜂須賀重喜の御用を勤め、彩り豊かな作風で知られます



自在置物 鷹

明珍春作 江戸時代・18～19世紀  
自在置物とは動物などを写実的に表現し、体の各部が動くようにしたもの



色絵構図平鉢

伊万里 (古九谷五彩手) 江戸時代・17世紀  
広田松繁氏寄贈  
大胆な構図と濃厚な色彩による、五彩手独特の気迫に満ちた意匠です



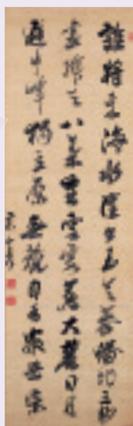
8 - 2

書画の展開 — 安土桃山・江戸

1/13 月・祝 (12/9-1/1は雨室)

富嶽詩書

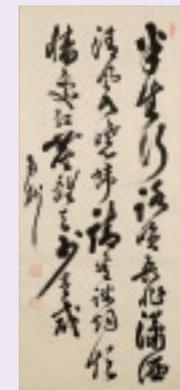
柴野栗山筆 江戸時代・18世紀  
弘笠ひで氏寄贈  
「寛政の三博士」の一人として学識知られた栗山が富士山を詠んだ詩



1/15 水 — 2/23 日 季節に因んだ梅図を中心に

月ヶ瀬探梅図巻上

金井鳥洲筆 江戸時代・天保4年(1833)  
中島伊平氏寄贈  
梅の名所の奈良、月ヶ瀬梅溪の長閑な景観



必見

七言絶句

西郷隆盛筆 明治時代・19世紀  
馬嘉瑞園氏寄贈  
西郷が明治政府の職を辞して、鹿児島に隠棲した際の感慨を述べた詩

9

能と歌舞伎

12/8 日 江戸時代末期のお狂言師・坂東三津江の歌舞伎衣装を展示します。

四天 亀甲雲鶴龍模様

江戸時代・19世紀  
坂東三津江所用 高木キヨウ氏寄贈  
「絵本太功記」の四天王但馬守に使用。武勇をイメージしたデザイン



1/2 木 2/23 日

能のデザインに見る吉祥模様

からおり へにじはなびしきつこうつるびしもよう  
唐織 紅地花菱亀甲雲鶴龍模様  
安土桃山時代・16世紀  
奈良・金春座伝来  
長寿の象徴である亀を亀甲模様で、鶴を夫婦向かい合わせに表しています



【衣装】

12/8 日 ◎小袖 白綾地秋草模様

尾形光琳筆 江戸時代・18世紀  
尾形光琳が深川の材木商・冬木家の奥方のために描いたと伝わる



1/2 木 — 2/23 日

日本の吉祥模様をデザインした着物を展示します。

振袖 白綾子地雲御座橋模様

江戸時代・19世紀  
袖の長い大振袖は江戸時代後期の町方女性の間で大流行



10

浮世絵と衣装 — 江戸 【浮世絵】

12/8 日

浮世絵を中心に銅版画も加えて風景版画の様相を示す展示です。

◎甲陽猿橋之圖

歌川広重筆 江戸時代・19世紀  
広重らしい叙情性あふれた作品



1/2 木 — 1/26 日

七福神や宝船、万歳や羽根突きなど、お正月にちなんだ作品をご覧ください。



宝船の七福神

葛飾北斎筆 江戸時代・19世紀  
めでたいものを集めに集めた宝船



本館2階

12月9日 必見ガイド

日本美

縄文からほんものでた

※12月9日(月)～1月1日(水・祝)は展示

特別2室

本館7室

屏風と襖絵 — 安土桃山・江戸

本館8-1室

暮らしの調度 — 安土桃山・江戸

本館8-2室

書画の展開 — 安土桃山・江戸

本館9室

能と歌舞伎

本館10室

浮世絵と衣装 — 江戸

出口

# アジアを旅する

東洋館 5室

中国の染織

お正月にはおめでたい文様を！

## 中国染織に見る 吉祥文様

12月3日(火)〜2014年3月9日(日)



蘇芳地連雲宝尽し文様金襴 (富田金襴)

明時代・15〜16世紀  
前田家伝来  
連なる雲文は運氣を、散らされた宝尽文は富を願っています



縹地石畳文様緞子 (遠州緞子)

明時代・16世紀 前田家伝来  
富を表す銭文、富貴の象徴である牡丹文、高潔を表す菊花文を石畳状に大胆にアレンジ。江戸初期の茶人・小堀遠州の好みと伝えられます

東洋館 8室

中国の絵画

今度こそゆっくり見たい！

## 明本「清明上河図」と 明清の絵画

12月3日(火)〜12月23日(月・祝)

あの感動から約二年……お待たせしました、とうとう東洋館で、東博本「清明上河図」が展示されます！北京故宮博物院の「清明上河図」と同じ張沢端の作とされていますが、東博本の画中の人物はより鮮やかに、そしてその風俗も、宋代よりも明代に近いといえます。



清明上河図

伝張沢端筆  
中国 明時代・17世紀  
伊藤東涯の跋によると画中の人物は「1643人」だとか

「清明上河図」は明時代には大変流行し、蘇州を中心とする多くの写しが行われ、それらは日本にも数本伝来しています。東博本もそのうちのひとつです。後ろに江戸時代中期の儒学者・伊藤東涯の跋があり、早くから日本にもたらされたこともわかる、貴重な作品です。また、同時代の江南都市で描かれた作品もあわせて展示します。(塚本麿充)

東洋館 8室

中国の絵画

寒い冬に香り立つ、寿ぎの花

## 歳寒三友―中国文人の愛した松竹梅―

2014年1月2日(木)〜2月9日(日)



梅花図

丁仁筆 中国 中華民国 35年(1946)

青山慶示氏寄贈  
不思議な形をした梅花は丁仁独特のもの



水仙図巻

陳書筆 中国 清時代・雍正12年(1734)

女性の画家によって描かれた清楚な香りを漂わす水仙

新年を寿ぎ、歳寒三友を描いた絵画を展示します。寒い気候にもめげずに、青々と葉をたもつ松、曲がることのない竹、そして、春一番に清らかな香りを漂わせる梅は、古来中国文人たちの高い人格の象徴として愛され、多くの絵画作品に描かれてきました。

清朝初期に活躍した陳書は浙江省嘉興の名族・錢綿光の妻で、子や孫に多くの文人を輩出したことから、錢氏一族の書画のお手本として、大きな尊敬を集めてきた女性の画家です。本展覧会では、明清時代から近代にいたるまで、二十件の作品によって文人たちが花卉画に込めてきた思いを展示します。(塚本麿充)

東洋館 8室

中国の書跡

唐と宋。それぞれを代表する書の競演

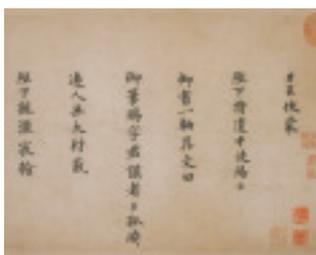
## 特集陳列 顔真卿と蔡襄

12月3日(火)〜2014年2月2日(日)

唐の四大家の一人・顔真卿(七〇九〜七八五)は、伝統的な書法に立脚しながらも、顔法と称される新しい書風を創出し、後世に大きな影響を与えました。

宋の四大家の一人・蔡襄(一〇一三〜一〇六七)は、晋唐の書法を継承し、とりわけ顔真卿の影響を強く受けながら、格調高い書風を伝えました。

今回は台東区立書道博物館所蔵の名品、顔真卿「楷書自書告身帖」と、蔡襄の「楷書謝賜御書詩表巻」を中心に据え、唐時代と宋時代の書の特質を探ります。(富田淳)



楷書謝賜御書詩表巻

蔡襄筆 北宋時代・皇祐5年(1053)

台東区立書道博物館蔵  
北宋の四大家の一人・蔡襄のこの作は、同じものが東博にも所蔵されています



楷書自書告身帖

顔真卿筆 原跡：唐時代・建中元年(780)

台東区立書道博物館蔵  
唐の四大家の一人・顔真卿は、顔法と呼ばれる力強いスタイルを創出しました

# 宝物に 浸る

# 考古で 遊ぶ

●平成館 企画展示室

見よ、日本工芸の最前線！

特集陳列 「人間国宝の現在」

2014年1月15日(水)～2月23日(日)

工芸技術によって人間国宝(重要無形文化財の保持者)に認定されている方は五十七名を数えます。その中から陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸の分野で、現在活躍されている五十三名の方々の作品をご覧いただけます。

生活の中に美を求めた日本人にとって、工芸はひとつの芸術でありました。現在も日本工芸の世界では、伝統の技を受け継ぎながら新たな美の創造が行われています。人間国宝

●法隆寺宝物館 第1室

飛鳥の空にきらめく、金色の幡

国宝 灌頂幡

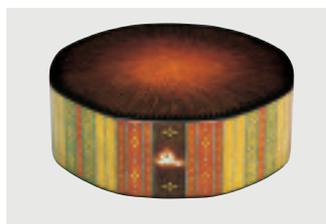
通年展示

幡とは、仏教で仏堂の中に懸け吊るしたり、行道(仏教の儀式などで行われる行列・行進)を先導する旗の役割をする仏具の一種です。この幡は銅板を精緻に透かし彫りして仏や菩薩、唐草文様などを表し、全体に鍍金(金メッキ)した天蓋・大小幡・垂飾からなる長大な幡で、通常の幡とは異なる複雑重層の造りをしています。法隆寺の財産目録である『法隆寺伽藍縁起并流記資財帳』天平十四年(七四七)の「金泥銅灌頂尅具」に該当するとされます。

灌頂は高僧の頭に聖水を注ぎ讃嘆するもの

の代表作を通して、人間国宝の現在、そして日本工芸の最前線をお楽しみ下さい。

(伊藤嘉章)



蒔絵螺鈿八稜箱  
「彩光」  
室瀬和美作  
平成12年(2000)  
文化庁蔵  
第47回日本伝統工芸展出品 東京都知事賞受賞



青白磁彫文鉢  
井上萬二作  
昭和62年(1987)  
東京国立博物館蔵  
第34回日本伝統工芸展出品 文部大臣賞受賞

で、高く吊るされた幡が人々の頭上に翻ることによって、頭に水を注ぎ、仏弟子となった儀式を受けたのと同じ仏果が得られるという意味もあったものと考えられています。

(伊藤信二)



●灌頂幡  
飛鳥時代：7世紀

展示室に下がっている、制作当初の構造を予想して復元されたレプリカにも注目してみてください



1000年後の未来に バトンタッチ!

保存と修理情報

20

## 被災ミュージアム再興事業による 博物館の復興

二〇一一年三月十一日の大震災で被災した文化財の保存と修理を目的として、二〇一二年から文化庁による補助事業「被災ミュージアム再興事業」が始まりました。東京国立博物館は震災直後から岩手県下の文化財レスキューを支援してきましたが、レスキュー活動終了後も引き続き文化財の保管環境の整備、資料の安定化処理と本格修理について支援を行ってあります。現在は受託研究として、陸前高田市から「東日本大震災被災資料の保管及び抜本的修復作業に関する専門的業務」の委託を受け、市立博物館の保管環境の評価・改善、主に美術工芸品などの被災資料に対する保存修理仕様の策定を行ってまいります。

立博物館に赴き、事業の進捗状況を確認して来ました。被災ミュージアム再興事業は五カ年の予定で進められているところですが、復興にはそれ以上の歳月が必要であることを強く印象付けられた視察となりました。

(神庭信幸)

被災した貝類標本(千葉蘭児コレクション)の処理状況について陸前高田市立博物館副主幹熊谷賢氏より説明を受ける銭谷東博館長



九月十九日には銭谷眞美東京国立博物館長が市



知る楽しみ、学ぶ喜び

## 講座・講演会・解説

## 講演会

## 月例講演会「江戸城築城400年—発掘成果にみる江戸城の姿—」

日時:12月7日(土)13:30~15:00

講師:後藤宏樹(千代田区図書・文化資源担当課文化財主査)  
富坂賢(九州国立博物館文化財課長)

近年の発掘成果をもとに往時の江戸城を考えます。本講演会では長年江戸城の発掘を手がけられてきた後藤宏樹氏をお招きし、興味深い事例を報告していただきます。

## 月例講演会「美術に見るウマ」

日時:1月18日(土)13:30~15:00

講師:勝木言一郎(出版企画室長)

「ウマと信仰」「ウマと儀礼」「ウマと人間」という視点を切り口に、ウマの造形について語ります。

## 特別講演会 東京国立博物館・日本考古学会共催講演会

## 講演・対談「山口県綾羅木郷遺跡の保存と活用

## —弥生時代前期における歴史的意義を巡って—

日時:12月14日(土)13:30~15:00

講師:伊東照雄(元下関市教育委員会文化課主幹)  
金関 恕(大阪府立弥生文化博物館名誉館長)

遺跡の調査と保護に携わった1950~60年代の考古学者の格闘と、稲作の始まりと拡大をめぐる本州最西端の弥生文化の役割をわかり易くお話しします。

\*会場は平成館大講堂、定員380名(先着順)、聴講無料(ただし、当日の入館料は必要)。

\*開場は開始の30分前(予定より早める場合もございます)。

## 列品解説

## 列品にみる東京国立博物館庭園の歴史

日時:12月3日(火)14:00~14:30

東洋館エントランス(集合場所)

※雨天の場合は東洋館シアターで実施します。

講師:三輪紫都香(登録室アシリエフェロー)

東京国立博物館の庭園には四季を彩る植物の中に茶室や石造物などが点在しています。庭園の歴史とともにいくつかの作品について実際にご覧いただきながらご紹介します。

## 古墳時代の装飾大刀

日時:12月10日(火)14:00~14:30

平成館考古展示室

講師:橋本英将(考古室研究員)

古墳時代の後半期に流行し、所有者の身分や職業を表したとされる、飾りをつけた大刀について解説します。

## 松林図屏風について

日時:1月7日(火)14:00~14:30(開場は13:30予定)

平成館大講堂

講師:田沢裕賀(絵画・彫刻室長)

定員:380名(先着順)

松林図屏風は長谷川等伯の画業の中でどのように考えられるでしょうか。作品の魅力とあわせてお話しします。

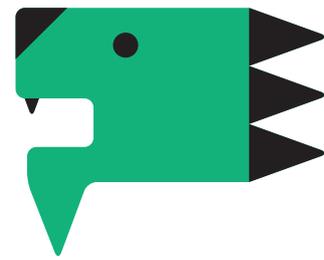
## 馬の鞍と漆芸

日時:1月21日(火)14:00~14:30

本館特別2室

講師:竹内奈美子(工芸室長)

「博物館に初もうで」に展示している鞍の名品について、漆芸技法を中心に話をします。



みどりのライオン

みんなで楽しむ教育スペース

EDUCATION CENTER 教学中心 교육센터

## 国宝 秋冬山水図 雪舟筆

日時:1月28日(火)14:00~14:30

講師:救仁郷秀明(登録室長)

平成館大講堂

日本の水墨画、また雪舟の代表作として、よく知られていますが、意外に謎が多い作品です。その魅力と謎についてお話しします。



●秋冬山水図

雪舟等楊筆 室町時代  
15世紀末~16世紀初

## 東京芸術大学大学院インターンによるギャラリートーク

例年好評の芸大生によるギャラリートーク。今年度は、本館、法隆寺宝物館、東洋館で実施します。芸大生によるさまざまな切り口でのトークが皆様の鑑賞のお役に立てれば幸いです。

## 「秋篠寺『十一面観音菩薩立像』のみかた

## —より強い救いを求めるかたち—

解説者:猪狩智子

日時:1/12(日)、1/21(火)、1/24(金)、1/29(水)、2/8(土)、2/14(金)

15:30~15:50 本館11室 集合:本館1階エントランス

## 「止利派の半跏像—金銅仏鑑賞の楽しみ方—

解説者:任佳英

日時:1/8(水)、1/10(金)、1/22(水)、1/26(日)、2/5(水)、2/11(火・祝)

15:30~15:50 法隆寺宝物館第2室 集合:法隆寺宝物館エントランス

## 「拍犬の世界—犬?ライオン? ふしぎな守護獣—

解説者:篠原英里

日時:12/11(水)、12/18(水)、1/15(水)、1/25(土)、2/2(日)、2/9(日)

15:30~15:50 本館11室 集合:本館1階エントランス

## 「甲冑の美術—『黒章肩袂取威胴丸』—

解説者:武田侑子

日時:1/16(木)、1/23(木)、1/28(火)、1/31(金)、2/6(木)、2/12(水)

15:30~15:50 本館5室 集合:本館1階エントランス

## 「『播磨樹』銭なる樹と大きな羊—古代四川文化の洗練、快活、多様性—

解説者:吉野利幸

日時:1/19(日)、2/1(土)、2/4(火)、2/13(木)、2/19(水)、2/23(日)

15:30~15:50 東洋館5室 集合:東洋館1階エントランス

\*「東洋館シアター」とは、東洋館 TNM&amp;TOPPAN ミュージアムシアターのことで、

\*事前申込プログラムにお申し込みいただいた方には、当落に関わらずご連絡いたします。実施日の3日前までに受講可否の返答がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので、各申込先に電話でお問い合わせください。TEL:03-3822-1111(代表)

\*各種催し物にご応募の際に提供いただいた個人情報は、当該の目的のみ使用させていただきます。終了後はすみやかに破棄します。

五感を使った美術体験

## ワークショップ・探検ツアー

事前申込制 [往復はがき、ウェブサイトフォーム]

### ファミリーワークショップ

#### 「からだが動くエビを作ってみよう」

からだが本物のように動く金属の置物「自在置物」は、とても高い技術がなければ作れません。どうやって作ったのかを探る人気プログラム。力を合わせて、家族でひとつ、エビの自在置物を作ってみましょう！

日時：①1月18日(土)13:00~17:00  
②1月19日(日)13:00~17:00

会場：平成館小講堂 対象：小学生とご家族  
定員：各回10組(応募者多数の場合には抽選)  
参加費：無料(ただし、当日の入館料は必要)

申込方法：当館ウェブサイトの申込フォームか往復はがきでお申込みください。往復はがきの場合には、「往信用裏面」に(1)参加者全員の氏名・ふりがな・年齢、(2)代表者の郵便番号・住所、(3)代表者の電話番号、(4)希望の回(①・②のいずれか)を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記申込先にお送りください。

\*1枚のはがきで、①②のどちらか一方のみ申込可。

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館教育普及室「自在エビ」係 申込締切：12月20日(金)必着



家族みんなで作ってみよう！

事前申込制 [往復はがき、ウェブサイトフォーム]

### 探検ツアー

#### トーハク探検ツアー 法隆寺のたからもの編

法隆寺献納宝物はトーハクのとても大切なたからものです。このたからもの謎に挑戦する探検ツアーです。一緒に探検してみませんか？

日時：①2月8日(土)10:30~11:30 ②2月9日(日)10:30~11:30

会場：法隆寺宝物館 対象：小学生とご家族

定員：各回10組(応募者多数の場合には抽選)

参加費：無料(ただし、当日の入館料は必要)

申込方法：当館ウェブサイトの申込フォームか往復はがきでお申込みください。往復はがきの場合には、「往信用裏面」に(1)参加者全員の氏名・ふりがな・年齢、(2)代表者の郵便番号・住所、(3)希望の回(①・②のいずれか)を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記申込先にお送りください。

\*1枚のはがきで、①②のどちらか一方のみ申込可。

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館教育普及室「探検ツアー」係 申込締切：1月20日(月)必着

#### みんなでみる法隆寺献納宝物入門

法隆寺献納宝物の入門ツアーです。解説を聞くだけでなく、簡単な体験などを通じまずは楽しんでみることから始めましょう。法隆寺宝物館初心者の皆様、どうぞ参加ください。

日時：①2月8日(土)14:00~15:00  
②2月9日(日)14:00~15:00

会場：法隆寺宝物館  
対象：一般(高校生以上)

定員：各回15名(応募者多数の場合には抽選)  
参加費：無料(ただし、当日の入館料は必要)

申込方法：当館ウェブサイトの申込フォームか往復はがきでお申込みください。往復はがきの場合には、「往信用裏面」に(1)参加者全員の氏名・ふりがな・年齢、(2)代表者の郵便番号・住所、(3)代表者の電話番号、(4)希望の回(①・②のいずれか)を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記申込先にお送りください。

\*1枚のはがきで、①②のどちらか一方、最大2名まで申込可。

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館教育普及室「トーハク入門」係 申込締切：1月22日(水)必着



初心者歓迎!一緒に見れば新たな発見があるかも!?

## ユリノキちゃんのワンポイントコーナー

### Q ボランティアさんって どんな仕事してるの?

ユリノキちゃん

：ほー!!!

：ト、トーハクくん、いきなりどうしたの!?

：こわい夢を見たほー!東洋館の古い師さん

に相談だほー!夢占いをしてくるほー!

：…また居眠りしてたのね。落ち着いてトーハクくん。東洋館オアシ

スのアジアの古いコーナーにいるのは、博物館のボランティアさんよ。

：ほ?あの方は「東洋館の母」じゃないほ?

：もう…。同じ人に本館で案内してもらったことがあるでしょ?

お客様の案内や、パンフレットの印刷、ワークショップなどのアシ

スタント、さらにガイドツアーやバリアフリー活動まで、ボランティア

さんはさまざまな活動で博物館をサポートしているのよ!

：大活躍だほ!どんな人たちがやっているんだほ?

：学生や会社員、主婦や定年

退職された方など、いろんな

人たちがいるわ。

：ボクにもできるかなあ…。

：興味があるなら12月7日・8日

の「東博ボランティアデー」に

参加してみたら?活動見学や

募集の説明等もあるのよ。

：よし。いろいろ教えてもらってボクも応募しちゃうほー!

：トーハクくんはまず、その居眠り癖をなんとかしなきゃね。そうい

えば、どんなこわい夢をみてたの?

：本館で迷子になった夢だけど…もう大丈夫だほ。道に迷ったら

ボランティアさんに聞けばいいんだほ。

：トーハクくんはここに住んでるのよね…?まだ迷うことがあるの?



羊のシャガイ(くるぶしの骨)を使った占いの様子。あくまで遊びです。

あなたの鑑賞をサポート

## ボランティアによる事業

事前申込制 [往復はがき、ウェブサイトフォーム]

### アートスタジオ

#### 「勾玉作り体験」

平成館古展示室にある古代の勾玉を見学した後、滑石を加工してオリジナルの勾玉を制作します。完成作品はお持ち帰りいただけます。

日時：2月2日(日)13:30~15:30

会場：平成館小講堂

対象：小学校3年生から中学生(保護者の方の見学も可能です)

参加費：無料(ただし、当日の入館料は必要。高校生と満18歳未満および満70歳以上の方は入館無料)

定員：10名程度(応募者多数の場合には抽選)

申込方法：当館ウェブサイトの申込フォームか往復はがきでお申込みください。往復はがきの場合には、「往信用裏面」に(1)参加者全員(2名まで)の氏名・ふりがな・性別・年齢、(2)参加者全員の郵便番号・住所(2名の場合は、それぞれの住所を必ず明記してください)、(3)代表者の電話番号、(4)保護者が一緒の場合はその人数を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記申込先にお送りください。

\*1枚のはがきで、最大2名まで申込可。

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館 ボランティア室「2月2日勾玉作り」係

申込締切：1月7日(火)必着



工具を使って石をけずります





## TNM & TOPPANミュージアムシアター

10月5日(土)～12月23日(月・祝)

○VR作品『洛中洛外図屏風と岩佐又兵衛』

上演日時:水・木・金 12:00<sup>\*1</sup> 13:00 14:00<sup>\*1</sup> 15:00  
土・日・祝・休日 11:00 12:00<sup>\*1</sup> 13:00 14:00<sup>\*1</sup> 15:00

<sup>\*1</sup> 12月1日(日)まで上演

\*特別展「京都」のチケット(半券可)提示により、お一人様一回限り100円割引させていただきます

10月23日(水)～3月2日(日)

○VR作品『よみがえる江戸城 本丸御殿・松の廊下から天守閣へ』

上演日時:水・木・金 12:00<sup>\*2</sup> 13:00<sup>\*3</sup> 14:00<sup>\*2</sup> 15:00<sup>\*3</sup> 16:00<sup>\*4</sup>  
土・日・祝・休日 11:00<sup>\*5</sup> 12:00<sup>\*2</sup> 13:00<sup>\*3</sup> 14:00<sup>\*2</sup> 15:00<sup>\*3</sup> 16:00<sup>\*4</sup>

<sup>\*2</sup> 12月4日(水)から1月5日(日)まで上演 <sup>\*3</sup> 1月8日(水)から上演 <sup>\*4</sup> 1月5日(日)まで上演

<sup>\*5</sup> 1月4日(土)から上演 \*1月2日、3日はお正月イベントとして鑑賞料無料です。

1月8日(水)～3月2日(日)

○VR作品『興福寺 国宝 阿修羅像』

上演日時:水・木・金・土・日・祝・休日 12:00 14:00 16:00

\*3月5日(水)以降も引き続き上演予定。上演時間の詳細は本誌次号でお知らせします。

料金:一般・大学生・高校生:500円、小学生・中学生:300円、未就学児、障がい者及び同伴者1名:無料(1作品/1回あたり)

\*大学生以上は総合文化展当日券(600円)とセット購入で100円割引

\*所要時間は約40分です。鑑賞には当日の予約が必要です。

\*演目・スケジュールは都合により変更になる場合があります。

\*詳細はウェブサイトをご覧ください。 URL <http://www.toppn-vr.jp/mt/>

## 『MUSEUM』646号(2013年10月15日発行)の掲載論文

①「キンベール美術館・快慶作木造釈迦如来立像について」

岩田茂樹(奈良国立博物館学芸部長補佐)

②「近衛家と典薬頭・錦小路頼庸 ―その日記にみえる絵事について―」

小野真由美(貸与特別観覧室主任研究員)

《表紙解説》「二菩薩立像」勝木言一郎(出版企画室長)

定価:1,500円

お問合せ:当館ミュージアムショップまたは中央公論事業出版(電話03-3535-1321)



## 国立博物館の展示案内

〈京都国立博物館〉

特別展覧会「魅惑の清朝陶磁」10月12日(土)～12月15日(日)

〈奈良国立博物館〉

特別陳列「おん祭と春日信仰の美術」

2013年12月7日(土)～2014年1月19日(日)

〈九州国立博物館〉

特別展「国宝 大神社展」2014年1月15日(水)～3月9日(日)

## 東京国立博物館友の会&パスポート

友の会

年会費 1万円

発行日から1年間有効

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の総合文化展・平常展は何度でもご覧いただけます。特別展に関しては、観覧券を12枚配布。そのほか、本誌の定期郵送などさまざまな特典があります

パスポート

一般4,000円 学生2,500円

発行日から1年間有効

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の総合文化展・平常展は何度でも、お好きな6つの特別展を1回ずつ計6回までご覧いただけます

\*建物の改修等のため、京都国立博物館の平常展示館、東京国立博物館の黒田記念館など一部展示館を閉館しています。

◎お申込みは当館窓口、郵便振替または当館ウェブサイト

【郵便振替でのお申込】

●振替用紙には郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・職業・年齢・性別・メールアドレスを楷書でご記入ください

●振替用紙の半券が領収書になります。会員証、パスポートが届くまで保管しておいてください

●振替手数料はお客様の負担となります

●ご入金確認日より会員証、パスポートがお手元に届くまで2週間程かかります

友の会

加入者名(振替先)東京国立博物館友の会

口座番号00160-6-406616

パスポート

加入者名(振替先)東京国立博物館パスポート

口座番号00140-1-668060

●振替用紙には申込区分(一般か学生)、学生の場合は、生徒手帳か学生証のコピーを郵送またはFAXでお送りください

◎お問合せ

電話03-3822-1111(代)友の会・パスポート担当

FAX03-3821-9680

## 東京国立博物館ニュース定期郵送のご案内

本誌の定期購読をご希望の方は、年間(6冊分)1,000円の送料・事務費のご負担でご自宅にお届けします

◎お申込は郵便振替で

加入者名(振替先)東京国立博物館ニュース

口座番号00100-2-388101

●振替用紙には郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を楷書でご記入ください

●振替用紙の半券が送料の領収書になります。1年間保管しておいてください

●振替手数料はお客様のご負担となります

●次号より送付ご希望の場合、締切は2014年1月10日です

## 東博ボランティアデー 2013「もっと好きになるトーハク」

今年も国際ボランティアデーにちなんで、12月7日(土)・8日(日)に「東博ボランティアデー」を開催します。

当館のボランティアは、館内各所までのご案内や、東洋館オアシスの運営、本館2階で配布している「日本美術の流れ」の印刷、さらにイベントやワークショップのお手伝いなど、さまざまな活動をしています。

今年のボランティアデーのテーマは「もっと好きになるトーハク」。皆様に今までよりも、もっとトーハクを好きになってもらえるようなイベントを開催します。通常の活動はもちろん、二日間にわたり、ボランティアによるすべてのガイドツアーを計画中です!東博ボランティアによるおもてなしでもっとトーハクを好きになってみませんか?あわせて、平成26年度ボランティア募集の説明会も実施します。

日時:12月7日(土)・8日(日) 10:00～16:30

### ◆なるほど! ボランティア募集説明会

平成26年度のボランティアの応募をお考えの方に、ボランティアの概要と活動の仕組み、応募方法についてご説明します(参加は必須ではありません)。

時間:説明会は両日とも10:00～10:30、16:00～16:30(すべて同内容)

会場:本館地下 教育普及スペース みどりのライオン

### ◆現場を見てみよう! 「ボランティア活動見学ツアー」

実際の活動現場を現役ボランティアがご案内します。腕章をつけたボランティアへ直接お声掛けください。所要時間は約30分です。

時間:11:00～16:00(随時実施)

### ◆参加してみよう!

ボランティアによるさまざまなガイドツアーをお楽しみください。

[実施内容]

12月7日(土):アートスタジオ、たてもの散歩ツアー、陶磁ガイド、お茶会、彫刻ガイド、樹木ツアー、本館ハイライトツアー、法隆寺宝物館ガイド

12月8日(日):アートスタジオ、本館ハイライトツアー、庭園茶室ツアー、英語ガイド、彫刻ガイド、近代美術ガイド、浮世絵ガイド、考古展示室ガイド、東洋館ツアー

\*ガイドツアーの集合場所、時間などの詳細は、本誌裏表紙カレンダーをご覧ください。

\*ボランティアデーの催しは、お茶会を除いて参加無料。ただし、当日の入館料は必要。

\*アートスタジオは事前申込制。(申込は締め切りました)



本館特別4室での触知図のご案内

## ■平成26年度 ボランティア募集

当館では、来館者の方がより東京国立博物館に親しみをもち、心に残る体験をしていただくために、ボランティアによるさまざまな活動をおこなっています。平成23年登録のボランティアの任期が満了するのに伴い、平成26年4月から活動をされる方を新たに50名程度募集します。応募受付期間は、12月13日(金)～2014年1月16日(木)必着です。募集要項は、館内または当館ウェブサイト(<http://www.tnm.jp/>)で。なお、12月7・8日の「東博ボランティアデー」では、応募を検討されている方への説明会をおこないます。お気軽におこしください。

お問合せ:当館ボランティア室 Tel 03-3822-1111(代表)

## 東京国立博物館メールマガジン、Twitter、facebookのご案内

展示・催し物の情報をいち早くお届けします

●ご登録、アクセスは、<http://www.tnm.jp/> から

## 東京国立博物館利用案内

開館時間 9:30～17:00

2013年12月、2014年3月～12月の特別展開催期間中の毎週金曜日は20:00まで開館。2014年3月29日(土)～9月の土日祝休日は18:00まで開館(入館は閉館の30分前まで)。

休館日 原則として月曜日(祝日・休日にあたる場合は開館、翌火曜日休館)、年末年始(2013年12月24日～2014年1月1日)。

総合文化展観覧料金

一般600(500)円、大学生400(300)円

●( )内は20名以上の団体料金

●障がい者とその介護者1名は無料です。入館の際に障がい者手帳などをご提示ください

●満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方の総合文化展観覧は無料です。入館の際に年齢のわかるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証など)をご提示ください

\*各種イベント等のお申込みに際してご提供いただいた個人情報、当該の目的にのみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします

1日	浮 14:00 特別展「京都一洛中洛外図と障壁画の美」
2日	休館日
3日	列「列品にみる東京国立博物館庭園の歴史」14:00 東洋館エントランス(集合場所)*1 建 11:00
4日	浮 14:00
5日	本 14:00
6日	英 14:00 法 15:00
7日	講「江戸城築城400年」13:30 平成館大講堂*1 東博ボランティア*2 作 11:00 建 11:00 陶 12:00 茶 13:00 彫 13:00 樹 13:30 本 14:00 浮 15:00
8日	クリスマスコンサート 14:00 平成館ラウンジ*3 東博ボランティア*2 作 11:00 本 11:00 庭 12:00 英 12:00 彫 13:00 近 13:30 浮 14:00 考 14:30 東 15:00
9日	休館日
10日	列「古墳時代の装飾大刀」14:00 平成館考古展示室*1
11日	芸「狛犬の世界」15:30 本館11室*1 樹 13:30
12日	庭 14:00
13日	
14日	講「山口県綾羅木郷遺跡の保存と活用」13:30 平成館大講堂*1 陶 14:30
15日	茶 12:30、14:00
16日	休館日
17日	建 11:00
18日	芸「狛犬の世界」15:30 本館11室*1
19日	彫 15:00
20日	法 15:00
21日	建 11:00 樹 13:30 法 15:00
22日	彫 11:00 庭 14:00
23日	
24日	休館日
25日	休館日
26日	休館日
27日	休館日
28日	休館日
29日	休館日
30日	休館日
31日	休館日

1日	休館日
2日	新春イベント 「博物館に初もうで」
3日	新春イベント
4日	
5日	
6日	休館日
7日	列「松林図屏風について」14:00 平成館大講堂*1 建 11:00
8日	芸「止利派の半跏像」15:30 法隆寺宝物館2室*1 樹 13:30
9日	本 14:00 庭 14:00
10日	芸「止利派の半跏像」15:30 法隆寺宝物館2室*1 英 14:00
11日	英 14:00 陶 14:30 法 15:00
12日	芸「秋篠寺『十一面観音菩薩立像』のみかた」15:30 本館11室*1 浮 14:00
13日	新春東博寄席2014 13:30 平成館大講堂*4
14日	休館日
15日	【国宝】現 中島宏(陶芸)13:30 「クリーブランド美術館展」「人間国宝展」 平成館特別展示室第3・4室 芸「狛犬の世界」15:30 本館11室*1 浮 14:00
16日	【国宝】現 増村紀一郎(漆芸)13:30 平成館特別展示室第3・4室 芸「甲冑の美術」15:30 本館5室*1 彫 15:00
17日	【国宝】現 鈴木蔵(陶芸)13:30 平成館特別展示室第3・4室 法 15:00
18日	W「からだが動くエビを作ってみよう」13:00 平成館小講堂*5 講「美術に見るウマ」13:30 平成館大講堂*1 建 11:00(手話通訳付) 本 12:00、14:00 樹 13:30 法 15:00
19日	クリ「講」日本絵画のABC 13:30 平成館大講堂*6 W「からだが動くエビを作ってみよう」13:00 平成館小 講堂*5 芸「揺銭樹」銭なる樹と大きな羊 15:30 東洋館5室*1 茶 12:30、14:00 浮 14:00 考 14:30
20日	休館日
21日	【国宝】現 佐々木苑子(染織)13:30 平成館特別展示室第3・4室 列「馬の鞍と漆芸」14:00 本館特別2室*1 芸「秋篠寺『十一面観音菩薩立像』のみかた」15:30 本館11室*1 建 11:00
22日	【国宝】現 室瀬和美(漆芸)13:30 平成館特別展示室第3・4室 芸「止利派の半跏像」15:30 法隆寺宝物館2室*1 樹 13:30
23日	【国宝】現 森口邦彦(染織)13:30 平成館特別展示室第3・4室 芸「甲冑の美術」15:30 本館5室*1 本 14:00
24日	【国宝】現 村山明(木竹工)13:30 平成館特別展示室第3・4室 芸「秋篠寺『十一面観音菩薩立像』のみかた」15:30 本館11室*1
25日	【国宝】シンポジウム「日本工芸の21世紀を考える」13:30 平成館大講堂*7 芸「狛犬の世界」15:30 本館11室*1 陶 14:30
26日	【国宝】W「木竹工:竹とんぼづくり」13:30 平成館小講堂*7 芸「止利派 の半跏像」15:30 法隆寺宝物館2室*1 彫 11:00 庭 14:00 浮 14:00
27日	休館日
28日	【国宝】現 奥山峰石(金工)13:30 平成館特別展示室第3・4室 列「国宝 秋冬 山水図 雪舟筆」14:00 平成館大講堂*1 芸「甲冑の美術」15:30 本館5室*1
29日	【国宝】現 原清(陶芸)13:30 平成館特別展示室第3・4室 芸「秋篠寺『十一面観音菩薩立像』のみかた」15:30 本館11室*1
30日	【国宝】現 林駒夫(人形)13:30 平成館特別展示室第3・4室
31日	【国宝】現 伊勢崎淳(陶芸)13:30 平成館特別展示室第3・4室 芸「甲冑の美術」15:30 本館5室*1 (2/23まで)

【クリ】=クリーブランド美術館展関連事業 【国宝】=人間国宝展関連事業  
\*1 詳細は本誌12ページ \*2 詳細は本誌15ページ \*3 有料イベント。詳細は前号14ページ

\*4 詳細は本誌14ページ \*5 事前申込制。詳細は本誌13ページ \*6 事前申込制。詳細は本誌  
4ページ \*7 事前申込制。詳細は当館ウェブサイト

講=月例講演会等

列=列品解説

W=ワークショップ等

芸=東京芸術大学大学院インターンによるギャラリートーク

本=ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合場所:本館1階エントランス

浮=ボランティアによる浮世絵ガイド、集合場所:本館1階エントランス

陶=ボランティアによる陶磁ガイド、集合場所:本館1階エントランス

彫=ボランティアによる彫刻ガイド、集合場所:本館1階エントランス

樹=ボランティアによる樹木ツアー(庭園開放時は、前庭と北側庭園の樹木をご案内します。)、集合場所:本館1階エントランス

考=ボランティアによる考古展示室ガイド、集合場所:平成館考古展示室入口

法=ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、集合場所:法隆寺宝物館1階エントランス

茶=ボランティアによる応挙館での茶会、集合場所:本館1階エントランス(参加費500円、  
各回先着15名、各回開始30分前に集合場所で整理券配布)

庭=ボランティアによる庭園茶室ツアー、集合場所:本館1階エントランス(先着20名、開始30分前に集合場所で整理券配布)

英=ボランティアによる英語ガイド(日本美術の流れ)、集合場所:本館1階エントランス

建=ボランティアによるたてもの散歩ツアー、集合場所:本館1階エントランス

作=ボランティアによるこどもたちのアートスタジオ(事前申込制。申込は締切りました)

近=ボランティアによる近代美術ガイド、集合場所:本館1階エントランス

東=ボランティアによる東洋館ツアー、集合場所:東洋館1階エントランス

現=現役人間国宝によるギャラリートーク(「人間国宝展」観覧料が別途必要)

\*屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります。